

# こども支援部会 令和3年度 活動報告



わかくさ学園 いちご

河口 郁絵

# こども支援部会の活動報告 (令和3年度)

## ●こども支援部会の目的

- こどもを取り巻く事業所の連携と質の向上
- こどもの抱える地域課題を抽出し、解決に導く
- こども、家族のために情報発信を行う

## ●活動計画

- ホームページの活用（事業所紹介・空き情報）
- こどもに関する研修会の開催
- 福祉サービス事業所の支援方法や支援ツールの紹介
- 事例検討や事業内課題についてのグループワーク 等

★定例会は奇数月の第2水曜日19:00～20:30



# こども支援部会の活動報告 (令和3年度)

★コロナウイルス拡大のため、定例会の5月、9月、1月を中止

- ・第1回（7月）参加者25名・・・事業所紹介（参加事業所）  
園・学校との連携に関するアンケート
- ・第2回（11月）参加者29名・・・事業所紹介（今年度初めて  
参加した事業所）  
グループワーク（仕事をする上で困っていることや悩みなど）
- ・第3回（3月）参加者14名・・・事業所紹介（今年度初めて  
参加した事業所）  
グループワーク（仕事をする上で困っていることや悩みなど）

# こども支援部会の活動報告 (令和3年度)

## ★7月の園・学校との連携に関するアンケートから（抜粋）

（連携をとってよかった点）

- こどもの様子の共有ができ、支援の統一が図れた。
- 進路に向けて、支援の方向性の話し合いが出来た。
- 保護者の困り感を共有することができた。等

（連携をとるのにやりにくかった点）

- 園や学校から連携（話し合い等）を拒まれた。
- 様子確認は出来たが、話し合いの時間はとれないと言われた。
- 電話や話し合いの時間の制限がかなりあり、連携までいかないことがある。
- 高校になると福祉サービスそのものを知らないことが多い。等

# こども支援部会の活動報告 (令和3年度)

★11月・3月のグループワーク

「仕事をする上で困っていること、悩んでいることを聞いてもらおう」  
→地域課題の抽出

## 【進め方】

- テーブル5人程度
- 自己紹介（多職種）
- 一人5分程度で困っていることを話す
- テーブルの他のメンバーからの助言
- 最後にどんな話し合いが持たれたかの全体発表



# こども支援部会の活動報告 (令和3年度)

## ★グループワークで出た内容（抜粋）

- 不登校児支援について→園や学校との連携の仕方をどのようにしたらスムーズにまた効果的にできるのか。
- 日中の福祉サービスの利用についてはどこまでしても大丈夫なものなのか。
- 保護者支援について→家族全体に課題のあるご家庭の保護者支援について困ることがある。
- 支援内容について→どのような強みを持ちどのようなツールを使用しているか（例えばタブレットやPCなど）
- 組織について→事業所内には様々な職員がいるためどのようにしたら情報の共有や支援の統一ができるか。

## まとめ



★3年度はコロナの関係で、定例会6回のうち3回中止になり3回の開催となった。

★参加者も20人～30人の集まりとなったが、グループワークでは個々に日ごろの思いを言うことができ、またそれを聞いてもらい、助言もあるため盛り上がりを見せた。

→これをこどもの地域課題の抽出に繋げていきたい。

★研修会や講演会が出来ていないので、計画、実行していきたい。

# 4年度にむけての課題

## 【コロナ等の地域情勢を鑑みての開催】

- ・定例会の実施。
- ・ホームページ（え〜んじゃネット）の活用。  
（事業所紹介・空き情報）
- ・こどもに関係する地域課題などの抽出。
- ・テーマ別のグループワーク。
- ・こどもに関係した研修会、講演会の実施。

